

IV 中間見直し後の目標項目一覧

※網掛けが変更を行ったところです。(「平成」は31年5月以降、新元号に読み替え)

- 見直しの視点
- ① 目標設定の際に準拠した計画等の改定が行われた項目 ② 中間評価の実績値で既に目標に到達している項目
 ③ データ算出方法の変更により見直した項目 ④ 指標を変更した項目

基本方針1 生活習慣病の発症予防と重症化予防

	目標項目(指標)	ベースライン値	ベースライン値 (見直し後)	目標	目標 (見直し後)	見直しの視点
がん	がんによる死亡率の減少 (75歳未満のがんの年齢調整死亡率～10万人当たり～)	75歳未満 78.2 (平成22年)		75歳未満 69.3 (平成27年)	減少傾向へ (平成34年度)	①
	がん検診の受診率の向上 (がん検診の受診率)	胃がん 男性 38.2% 女性 28.8% 肺がん 男性 24.1% 女性 22.0% 大腸がん 男性 25.5% 女性 20.8% 子宮頸がん 女性 40.2% 乳がん 女性 35.2% (平成22年)		胃がん 肺がん 大腸がん 子宮頸がん 乳がん 50% (平成28年度)	胃がん 肺がん 大腸がん 子宮頸がん 乳がん 50% (平成34年度)	①
	成人の喫煙率の減少 (成人の喫煙率)	15.8% (平成23年度)	16.6% (平成23年度)	10.8% (平成34年度)	11.3% (平成34年度)	③
	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少 (1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合) ※純アルコール量20gとは、日本酒に換算して1合である。	男性 20.5% 女性 15.2% (平成22年度)	男性 13.9% 女性 8.5% (平成22年度)	男性 17.4% 女性 12.9% (平成34年度)	男性 11.8% 女性 7.2% (平成34年度)	③
循環器疾患	循環器疾患による死亡率の減少 (脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率～10万人当たり～)	脳血管疾患 男性 40.8 女性 19.3 (平成22年)		脳血管疾患 男性 34.3 女性 17.7 (平成34年度)		
		虚血性心疾患 男性 42.3 女性 18.1 (平成22年)		虚血性心疾患 男性 31.8 女性 13.7 (平成34年度)		
	高血圧の改善 (収縮期血圧の平均値)	男性 130.4mmHg 女性 126.5mmHg (平成22年度)	男性 126.7mmHg 女性 121.3mmHg (平成22年度)	男性 127.5mmHg 女性 123.7mmHg (平成34年度)	男性 123.8mmHg 女性 118.5mmHg (平成34年度)	③
	脂質異常症の減少 (LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合)	男性 10.5% 女性 15.4% (平成22年度)	男性 12.8% 女性 13.3% (平成22年度)	男性 7.9% 女性 11.6% (平成34年度)	男性 9.6% 女性 10.0% (平成34年度)	③
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少 (メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合)	6,506人 27.9% (平成20年度)		平成20年度と比べて25%減少 (平成29年度)	平成20年度と比べて25%減少 (平成34年度)	①
健康診査の受診率の向上 (健康診査の受診率)	65.6% (平成22年) 【参考】 特定健康診査 13.6% 特定保健指導 31.5% (広島市国民健康保険) (平成23年度)		70% (平成29年度)	70% (平成34年度)	①	

	目標項目（指標）	ベースライン値	ベースライン値 （見直し後）	目標	目標 （見直し後）	見直し の視点
	（再掲）成人の喫煙率の減少 （成人の喫煙率）	15.8% （平成 23 年度）	16.6% （平成 23 年度）	10.8% （平成 34 年度）	11.3% （平成 34 年度）	③
糖尿病	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少 （糖尿病腎症が主要因と診断書に記載されている者のうちの年間新規透析導入患者数）	129 人 （平成 23 年度）	【参考】 162 件 （平成 28 年度） 「広島市国保『特定疾病療養受療証』新規交付数」	減少 （平成 34 年度）		
	血糖値を適正に管理できていない者の割合の減少（血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少） （特定健康診査の HbA1c の血糖検査を受けた者で、HbA1c が JDS 値 8.0%（NGSP 値 8.4%）以上の者の割合）	1.0% （平成 22 年度）	0.9% （平成 22 年度）	0.8% （平成 34 年度）	0.8% （平成 34 年度）	③
	糖尿病有病者の増加の抑制 （糖尿病治療薬内服中又は HbA1c が JDS 値 6.1%（NGSP 値 6.5%）以上の者の割合）	8.6% （平成 22 年度）	6.6% （平成 22 年度）	9.6% （平成 34 年度）	7.4% （平成 34 年度）	③
	（再掲） メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少 （メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合）	6,506 人 27.9% （平成 20 年度）		平成 20 年度と比べて 25%減少 （平成 29 年度）	平成 20 年度と比べて 25%減少 （平成 34 年度）	①
	（再掲） 健康診査の受診率の向上 （健康診査の受診率）	65.6% （平成 22 年） 【参考】 特定健康診査 13.6% 特定保健指導 31.5% （広島市国民健康保険） （平成 23 年度）		70% （平成 29 年度）	70% （平成 34 年度）	①
（たばこ肺）	COPD（タバコ肺）の認知度の向上 （COPD（タバコ肺）に関する認知率）	20 歳以上 49.2% （平成 24 年度）		20 歳以上 80% （平成 34 年度）		
	（再掲）成人の喫煙率の減少 （成人の喫煙率）	15.8% （平成 23 年度）	16.6% （平成 23 年度）	10.8% （平成 34 年度）	11.3% （平成 34 年度）	③

基本方針 2 ライフステージに応じた健康づくり

	目標項目（指標）	ベースライン値	ベースライン値 （見直し後）	目標	目標 （見直し後）	見直し の視点
次世代の健康	健康的な生活習慣を有する子どもの割合の増加 ・朝食を食べることが習慣になっている子どもの割合の増加 （朝食を食べることが習慣になっている子どもの割合）	小学生 97.0% 中学生 95.0% （平成 23 年度）		小学生 100% 中学生 100% （平成 27 年度）	小学生 100% 中学生 100% （平成 32 年度）	①
	健康的な生活習慣を有する子どもの割合の増加 （運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合）	週に 3 日以上 小学 5 年生 男子 62.8% 女子 38.5% （平成 21 年度）		増加傾向へ （平成 34 年度）	減少傾向へ （平成 34 年度）	④
	小学校 5 年生 週 3 日以上 ↓ 小学校 5 年生 1 週間の総運動時間が 60 分未満の子どもの割合					
	適正体重の子どもの増加 ・全出生数中の低出生体重児の割合の減少 （全出生数中の低出生体重児の割合）	9.3% （平成 22 年度）		減少傾向へ （平成 26 年度）	減少傾向へ （平成 34 年度）	①

	目標項目（指標）	ベースライン値	ベースライン値 （見直し後）	目標	目標 （見直し後）	見直し の視点
次世代の健康	適正体重の子どもの増加 ・肥満傾向にある子どもの割合の減少 （肥満傾向にある子どもの割合）	小学生 男子 4.1% 女子 3.3% 中学生 男子 3.7% 女子 4.9% （平成 22 年度）	【参考】 小学校 5 年生の 肥満傾向児の割合 （小学 5 年生 255 人分） 4.7% （平成 29 年度）	減少傾向へ （平成 26 年度）	減少傾向へ （平成 34 年度）	①
	食卓を囲む家族等との団らんを実 践している者の割合の増加 （食卓を囲む家族等との団らんを実 践している者の割合）	74.7% （平成 23 年度）		80%以上 （平成 27 年度）	80%以上 （平成 32 年度）	①
	妊娠中の喫煙をなくす （妊婦の喫煙率）	3.4% （平成 24 年度）		0% （平成 34 年度）		
	妊娠中の飲酒をなくす （妊婦の飲酒率）	0.7% （平成 24 年度）		0% （平成 34 年度）		
	未成年の喫煙をなくす （未成年の喫煙率）	男子 4.2% 女子 1.8% （平成 23 年度）		男子 0% 女子 0% （平成 34 年度）		
	未成年の飲酒をなくす （未成年の飲酒率）	男子 5.3% 女子 1.8% （平成 23 年度）		男子 0% 女子 0% （平成 34 年度）		
	乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増 加（3 歳児でう蝕のない者の割合）	82.3% （平成 23 年度）		90% （平成 34 年度）		
	乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増 加（12 歳児でう蝕のない者の割合）	62.4% （平成 23 年度）		65% （平成 34 年度）	75%以上 （平成 35 年度）	②
働く世代の健康	適正体重を維持している者の増加 ・成人男性肥満者の割合の減少 （20～60 歳代男性の肥満者（BMI25 以上）の割合）	23.1% （平成 23 年度）		20% （平成 34 年度）		
	適正体重を維持している者の増加 ・20 歳代女性のやせの者の割合の 減少 （20 歳代女性のやせ（BMI18.5 未 満）の者の割合）	25.1% （平成 23 年度）		20% （平成 34 年度）		
	適切な量と質の食事をとる者の増加 ・栄養バランスのとれた日本型食生 活を実践している者の割合の増加 （栄養バランスのとれた日本型食生活を実 践している者の割合）	71.6% （平成 23 年度）		80%以上 （平成 27 年度）	80%以上 （平成 32 年度）	①
	適切な量と質の食事をとる者の増加 ・食塩摂取量の減少 （1 日当たりの食塩の平均摂取量）	20 歳以上 9.6g （平成 22 年度）		20 歳以上 8.0g （平成 34 年度）		
	適切な量と質の食事をとる者の増加 ・野菜摂取量の増加 （1 日当たりの野菜の平均摂取量）	20 歳以上 268g （平成 22 年度）		20 歳以上 350g （平成 34 年度）		
	朝食を食べる事が習慣に なっている者の割合の増加 （朝食を食べる事が習慣になっ ている者の割合）	20 歳代男性 69.4% 30 歳代男性 67.9% （平成 23 年度）		20 歳代男性 85%以上 30 歳代男性 85%以上 （平成 27 年度）	20 歳代男性 85%以上 30 歳代男性 85%以上 （平成 32 年度）	①
	日常生活における歩数の増加 （20 歳以上の者の歩数） ↓ 日常生活における歩数の増加 （20～69 歳の者の歩数）	20 歳以上の者の 歩数 男性 7,997 歩 女性 7,772 歩 （平成 23 年度）	20～69 歳 男性 8,598 歩 女性 8,260 歩 （平成 23 年度）	20～69 歳 男性 9,000 歩 女性 8,500 歩 （平成 34 年度）		④
	運動習慣者の割合の増加 （運動習慣者（1 回 30 分以上の運動 を週 2 日以上、1 年以上継続している 者）の割合）	1 日 30 分以上、 週 3 回以上の運 動を行っている 者の割合 20 歳以上 男性 24.1% 女性 20.2% （平成 23 年度）	1 回 30 分以上の 軽く汗をかく 運動を週 2 日以上、 1 年以上実施して いる者の割合 （39～64 歳） 男性 31.2% 女性 25.8% （平成 22 年度）	20～64 歳 男性 36% 女性 33% （平成 34 年度）	39～64 歳 男性 36% 女性 33% （平成 34 年度）	③

	目標項目（指標）	ベースライン値	ベースライン値 （見直し後）	目標	目標 （見直し後）	見直し の視点
働く世代の健康	睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少 （睡眠による休養を十分とれていない者の割合）	27.4% （平成23年度）		22% （平成34年度）		
	週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少 （週労働時間60時間以上の雇用者の割合）	13.1% （平成19年）		6.6% （平成34年）		
	自殺者の減少 （自殺死亡率～10万人当たり～）	17.1 （平成23年）		14.8 （平成28年）	13.0 （平成33年）	①
	気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少 （気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合）	11.7% （平成22年）		10.5% （平成34年）		
	メンタルヘルスに関する相談窓口が市役所などにあること知っている者の割合の増加 （メンタルヘルスに関する相談窓口が市役所などにあることを知っている者の割合）	34.0% （平成23年度）		100% （平成34年度）		
	メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加 （メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合）	37.6% （平成22年度）		100% （平成34年度）		
	（再掲）成人の喫煙率の減少 （成人の喫煙率）	15.8% （平成23年度）	16.6% （平成23年度）	10.8% （平成34年度）	11.3% （平成34年度）	③
	（再掲）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少 （1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合） ※純アルコール量20gとは、日本酒に換算して1合である。	男性 20.5% 女性 15.2% （平成22年度）	男性 13.9% 女性 8.5% （平成22年度）	男性 17.4% 女性 12.9% （平成34年度）	男性 11.8% 女性 7.2% （平成34年度）	③
	歯の喪失防止 ・60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加 （60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合）	79.4% （平成23年度）		85% （平成34年度）	95% （平成34年度）	②
	歯の喪失防止 ・40歳で喪失歯のない者の割合の増加 （40歳で喪失歯のない者の割合）	69.8% （平成23年度）		75% （平成34年度）	87% （平成34年度）	②
	歯周病を有する者の割合の減少 （40歳及び60歳における進行した歯周炎を有する者の割合）	40歳 47.2% 60歳 65.9% （平成23年度）		40歳 35% 60歳 55% （平成34年度）		
	過去1年間に歯科健康診査を受診した者の割合の増加 （過去1年間に歯科健康診査を受診した者の割合）	20歳以上 42.3% （平成23年度）		20歳以上 65% （平成34年度）		
	高齢世代の健康	介護保険要支援・要介護認定者数の増加の抑制 （介護保険要支援・要介護認定者数）	45,232人 （平成23年度）		54,350人未満 （平成26年度）	55,167人未満 要支援・要介護認定率 18.1%未満 （平成32年度）
介護予防事業〈二次予防〉の参加者数の増加 （介護予防事業〈二次予防〉の参加者数）		1,141人 （平成23年度）		2,685人 （平成26年度）	地域介護予防拠点か所数 870か所	④
↓ 地域介護予防拠点か所数及び参加者数					参加者数 17,000人 （平成32年度）	
ロコモティブシンドローム 〈運動器症候群〉を認知している者の割合の増加 （ロコモティブシンドローム〈運動器症候群〉を認知している者の割合）		20歳以上 26.4% （平成24年度）		20歳以上 80% （平成34年度）		

	目標項目（指標）	ベースライン値	ベースライン値 （見直し後）	目標	目標 （見直し後）	見直し の視点
高齢世代の健康	日常生活における歩数の増加 （70歳以上の者の歩数）	70歳以上 男性 5,626 歩 女性 5,797 歩 （平成 23 年度）		70歳以上 男性 7,000 歩 女性 6,000 歩 （平成 34 年度）	70歳以上 男性 7,000 歩 女性 7,000 歩 （平成 34 年度）	②
	30分以上健康のために歩く者の割合の増加 （30分以上健康のために歩く者の割合）	70歳以上 男性 57.9% 女性 47.9% （平成 23 年度）		70歳以上 男性 68% 女性 58% （平成 34 年度）		
	低栄養傾向の高齢者の割合の増加の抑制 （低栄養傾向〈BMI20以下〉の高齢者の割合）	70歳以上 21.3% （平成 23 年度）		70歳以上 22% （平成 34 年度）		
	足腰に痛みのある高齢者の割合の減少 （足腰に痛みのある高齢者の割合～千人当たり～）	65歳以上 男性 258 人 女性 332 人 （平成 22 年）		65歳以上 男性 230 人 女性 300 人 （平成 34 年度）		
	地域活動に参加する高齢者の割合の増加 （65歳以上で地域活動に参加する者の割合） ↓ 高齢者いきいき活動ポイント事業の健康づくり・介護予防活動に参加する高齢者の割合	55.8% （平成 22 年度）		63% （平成 34 年度）	前年度を上回る増加率	④
	80歳以上で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加 （80歳以上で20歯以上の自分の歯を有する者の割合） ↓ 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	24.1% （平成 23 年度）		50% （平成 34 年度）	60% （平成 34 年度）	④
	70歳における口腔機能低下者の割合の減少 （70歳における口腔機能低下者の割合）	14.2% （平成 23 年度）		10% （平成 34 年度）		

基本方針 3 社会全体で健康を支え守るための社会環境の整備

	目標項目（指標）	ベースライン値	ベースライン値 （見直し後）	目標	目標 （見直し後）	見直し の視点
市民の主体的な健康づくりを支える地域づくり	地域のつながりの強化 （自分と地域の人たちとのつながりが強い方だと思う者の割合）	20歳以上 24.3% （平成 24 年度）		20歳以上 65% （平成 34 年度）		
	健康・スポーツの地域活動に参加する者の割合の増加 （60歳以上で健康・スポーツの地域活動に参加する者の割合）	13.1% （平成 23 年度）		23% （平成 34 年度）		
	すこやか食生活推進リーダーの活動実績の増加 （保健センターからの活動依頼分実績） ↓ すこやか食生活推進リーダーの活動実績の増加 （保健センターからの活動依頼分実績+自主活動実績）	225 回 （平成 23 年度）		450 回 （平成 34 年度）	増加傾向へ （平成 34 年度）	④
	健康ウォーキング推進者の活動実績の増加 （健康ウォーキング推進者の活動実績数）	183 回 （平成 23 年度）		370 回 （平成 34 年度）		

	目標項目（指標）	ベースライン値	ベースライン値 （見直し後）	目標	目標 （見直し後）	見直し の視点
健康づくりに関する団体・機関等との連携の強化	元気じゃけんひろしま21協賛店・団体の認証数の増加 （元気じゃけんひろしま21協賛店・団体の認証数）	全体 1,009 店舗 うち 禁煙協賛 239 店舗 食生活協賛 322 店舗 ウォーキング実践協賛 84 店舗 健康づくり協賛 364 店舗 （平成 23 年度）		全体 2,500 店舗 うち 禁煙協賛 500 店舗 食生活協賛 700 店舗 ウォーキング実践協賛 150 店舗 健康づくり協賛 650 店舗 がん検診推進協賛 500 店舗 （平成 34 年度）		
	利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加 （管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合）	65.8% （平成 23 年度）		75.5% （平成 34 年度）		
	日常生活における受動喫煙の機会の減少 （家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関において受動喫煙の機会がある者の割合）	行政機関 4.8% 医療機関 5.7% 飲食店 48.4% 職場 26.4% 家庭 17.1% （平成 22 年度）	行政機関 14.4% 医療機関 9.9% 飲食店 66.3% 職場 47.2% 家庭 9.7% （平成 22 年度）	行政機関 0% 医療機関 0% 飲食店 16.5% （平成 34 年度） 職場 0% （平成 32 年） 家庭 6% （平成 34 年度）	行政機関 0% 医療機関 0% 飲食店 22.6% （平成 34 年度） 職場 0% （平成 32 年） 家庭 3.3% （平成 34 年度）	③